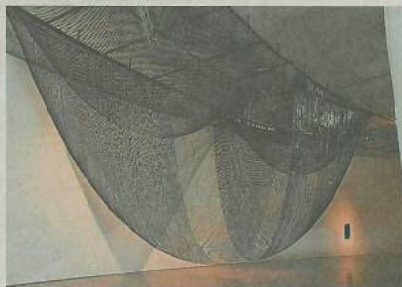


# 六ヶ所など題材 作品多彩

## ACCでAIR展示

青森市台子沢の青森公立  
大学国際芸術センター青森  
(ACC)で、公募ア  
ーティスト・イン・レジデ  
ンス(AIR)プログラム2  
022の成果展示が行われ  
ている。今回は野辺地町出  
身の吉田真也さんや、前田  
耕平さん、橋本晶子さん、  
ヴァネッサ・エンリケスさ  
ん、ネイタン・ディコン  
フルタドさんの5人が参加  
(ネイタンさんの個展は終  
了)。県内でのリサーチで  
着想を得て制作した映像や  
空間ドローイング、鉛筆画

など、さまざまな作品が並  
ぶ。11日まで、入場無料。  
と銘打った今回はゲスト審  
判員にアーティスト鈴木ヒ  
ラクさんを迎え、国内外の  
210件の応募の中から吉  
田さんら5人を選出。9月  
からの滞在制作を経て、順  
次個展を開催している。



【写真上】吉田真也さんの映像作品《或る考古学者の報告》からのスチール、2022  
【同下】ヴァネッサ・エンリケスさんの空間ドローイング作品「ゆらぎー算額」

つ小川原開発などに伴う発  
掘調査で多くの遺跡が見つ  
かった六ヶ所村をテーマに  
作品を制作した。同村の弥  
生平遺跡から発掘された遺  
骨と遺骨が納められてい  
た甕棺などを撮影した映像  
作品(或る考古学者の報告)を  
スクリーンに映し出すほ  
か、遺跡が発掘された場所  
の現在の写真7点を展示。  
甕棺を起点に、はるか昔か  
ら続く人々の営みを、さま  
ざまな痕跡から編み直すよ  
うな構成で展示している。

初来日で日本人の精神性  
からインスピレーションを  
受けたというヴァネッサさ  
ん(ベルリン)は、算術の  
問題や解法を記して神社仏  
閣に奉納された「算額」を  
モチーフに、VHSテープ  
を使った大型の空間ドロー  
イング作品を制作した。前  
田さん(大阪府)はACC  
がある八田田の庵を中心  
に、冬へと向かう青森をさ  
まざまな側面から調査し、  
日々変化する個展を展開。  
橋本さん(東京都)は緻密  
な鉛筆画を中心としたイン  
スタレーション(空間芸術)  
を展示している。

ACCの武田彩莉学芸  
員は「約2年半ぶりに国外  
のアーティストを招くこと  
ができた。現在は4人がA  
CCの展示空間を存分に  
使って作品を発表している  
ので、ぜひ楽しんでほしい」  
と語った。

4日はACC展示棟  
で、吉田さんのリサーチ報  
告会(午後2時半から)と、  
前田さんのイベント「10  
0人で光の足形をつくろ  
う」(午後4時半から、要  
申し込み、参加費無料、光  
るもの持参)を行う。問い  
合わせはACC(電話0  
17・764・5200)  
(本田海輝)